



学校だより

はと広場

北小 Revival～ありがとう 75 年 100 年に向かってスタート

11 月 号

令和 3 年 11 月 1 日

さいたま市立北浦和小学校

TEL 048-831-2463

感謝～立ち止まる～

校長 三村 悟

今日から 11 月。朝晩の空気の冷たさに、秋の深まりを感じます。先月 23 日の運動会には多くの保護者の皆様に御来校いただき有難うございました。児童の深瀬とした演技も輝く笑顔も、応援してくださった皆様の拍手があればこそ。あらためて「ライブ」が心を育てることを教えてもらいました。

運動会に向けた取組の中では様々な場面で「協働」の姿が見られました。各学年の演技はもちろんですが、応援でも次のような姿が見られました。

未だコロナウイルスへの心配が続く中、今年も大きな声を出しての応援合戦は見合わせました。しかし、代表委員の児童から、心を一つにして運動会を盛り上げるために、声を出さなくても出来る手拍子を使って応援を行いたいという提案がありました。素晴らしい提案です。早速取り組んでももらいました。代表委員の児童が校内テレビ放送を使って全校児童に説明した後、休み時間を使って各教室を回って教えてくれました。6 年生に教えに来てもらって、2 年生は少し緊張気味。でもお兄さんやお姉さんの説明を聞いて上手に手拍子が出来るようになりました。6 年生にとっても、一生懸命話を聞いて取り組んでくれる 2 年生の姿がとても嬉しかったようです。運動会当日は、応援席から自然に手拍子が始まる場面も見られるなど、6 年生の願いが学校全体に広がったことを実感し、嬉しくなりました。

11 月 23 日は勤労感謝の日。「勤労をたっぴ、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」日とされています。感謝の気持ちは心の中にあっても、それを表わす術を知らないと相手に伝わりません。先日、氷川神社の権宮司さんの話を聞く機会に恵まれました。感謝するには、いったん立ち止まり、周りの人や先人の行いを振り返る時間が大切なのだという言葉が心に残りました。

毎日過ぎていく時間の中で、当たり前のように見過ごしていることがたくさんあるのではないのでしょうか。例えば、登校を見守ってくださるボランティアの方の思い。テーブルに並べられた朝食に込められた願い。「おかえりなさい」と迎えてくれる言葉の奥にある優しさ……。立ち止まることで、見える景色が変わってきます。

感謝の思いを伝えるのも同じ。足を止め、手を止め、目を留め、心を留めて、それから「ありがとうございます」と声に出す。止まることで思いが深まります。

11 月は「心を潤す 4 つの言葉」推進月間です。忙しい中だからこそいったん立ち止まり、「おはようございます」「ありがとうございます」「ごめんなさい」「はい」という言葉に心を込めて、子どもたちの心を潤していきたいと思ひます。



開校記念日(10/19)の給食のオリジナル焼海苔。6 年生が袋のデザインをしました。